

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会  
第 75 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2025 年 11 月 18 日 (火) 13:30～14:50

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、平 (幹事)、宇井、岡田、篠原、杉野、松永、  
高木、長瀬、中野、前田<sup>記</sup> (莊田委員代理) (12 名)

(常時参加者) 佐藤、長嶺、三島、宮重 (4 名)

(オブザーバ) 西村 (1 名)

4. 配付資料

【P11SC75-0】 第 75 回水化学管理分科会議事次第

【P11SC75-1】 第 74 回水化学管理分科会議事録案

【P11SC75-3-1】 標準 5 か年計画 (BWR)

【P11SC75-3-2】 標準 5 か年計画 (PWR) R1

【P11SC75-4】 標準アンケート対応

【P11SC75-5】 新知見の提案

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

平幹事より、委員総数 15 名に対し出席委員は 12 名であり、開催定足数 (10 名) を満たしていることが確認された。

(2) 第 74 回水化学管理分科会議事録の確認

平幹事より、資料 P11SC75-1「第 74 回水化学管理分科会議事録(案)」について確認依頼があった。分科会終了までに出席者からコメントはなく、議事録として承認された。

(3) 各作業会からの報告について

1) PWR 水化学管理指針作業会 (加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針)

河村主査より、11/6 午後に開催された第 73 回システム安全専門部会における加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針に関する審議結果について報告があり、12/3 に予定されている第 102 回標準委員会において本報告されることが周知された。続いて、前田委員代理より、専門部会時のコメント対応状況について、附属書 E 表 E.18 に記載している使用

済燃料ピット水のほう素濃度の設定の考え方に関する修正文案について説明があった。  
出席委員からの質問・コメントは以下の通り。

- ・ 比較表の補足説明欄で、あえて「“制限値”の意味を含ませる」と記載されているが、ここで使用した“制限値”の意味は、BWR 指針で用いられている Action Level 3 相当を示す「制限値」のことではなく、質問者が意図している“制限値”のことを指しており、制御値の説明に質問者の意図を反映させることとしたとの理解で良いか。  
⇒ その理解で良い。ここでの“制限値”は専門部会委員のコメント対応として使用したものであり、BWR 指針の Action Level 3 に相当する「制限値」の定義とは異なる。

## 2) BWR 水化学管理指針作業会

宮重常時参加者より、口頭にて先日発刊となった沸騰水型原子炉の水化学管理指針および分析標準について、講習会の検討状況について報告があった。講習会の開催時期は、「原則、3 月を除く発刊から 2 か月前後の時期」となっているが、電力各社の研修受講予算確保の観点から、2026 年度早々の開催を検討することで合意した。開催に向けて、電力各社の出席見込みをふまえた開催時期の精査と至近の関連講習会である PWR 分析標準（4 件、2024 年 5 月に実施）の実績を共有することを確認した。

## (4) 標準 5 か年計画

### 1) PWR 水化学管理指針作業会

中野委員より、資料 P11SC75-3-2「標準 5 か年計画（PWR）R1」に基づき、1/2 次系水化学管理指針の改定作業の進捗反映（計画見直し）および ISO 対応 2 件の追記について説明があった。

### 2) BWR 水化学管理指針作業会

宮重常時参加者より、資料 P11SC75-3-1「標準 5 か年計画（BWR）」に基づき、BWR 水化学管理指針および分析標準の審議状況反映の説明があった。

5 か年計画表中の語句や体裁を修正したうえで、幹事にて PWR および BWR 分を集約し、1/16 までに事務局に提出することを確認した。

## (5) 標準アンケート対応

宮重常時参加者より、事務局より依頼のあった標準アンケートについて説明があり、沸騰水型原子炉の環境緩和標準策定事前検討 WG の発足を追記することとした。ただし、同 WG はまだ事前検討 WG であり準備段階であることをふまえ、今回の 5 か年計画見直

しには反映しないこととした。

(6) 新知見の提案

宮重常時参加者より、資料 P11SC75-5「新知見の提案」に基づき、BWR 作業会における検討結果について説明があった。主なコメントは以下の通り。

- ・ 分科会開催に際して梅原委員（欠席）から提供のあった IAEA SSG13 改訂で追加された BWR 原子炉水のふっ素について、新知見として追加することとした。
- ・ NPC2025 プロシーディングという記載は対象範囲が広すぎて分かりにくいため、具体的な発表案件に絞るなど記載を見直すこととした。

なお、PWR については特に新規提案がなかったものの、今年秋に開催された NPC2025 から新知見の提案対象となり得るものを再度確認することとした。

後日、修正結果をメールで確認し、幹事にて集約後、事務局に提出す方針を合意した。

(8) 次回の分科会

次回の分科会は、2/2(月) 13:30～とした。

以上